

大垣桜高に ミシン贈る

艶金と大垣西濃信金

染色加工の艶金(大垣市十六町)と大垣西濃信用金庫は27日、同市墨俣町上宿の大垣桜高校にミシン1台(10万円相当)を寄付した。同社は2020年から、余った布を活用したアップ

サイクルブランド「リトリコ」として、同校生徒のデザインを活用し、商品化もしている。そうした縁で今回の寄付を企画。発行手数



ミシンを寄付した艶金の墨勇志社長(右から2人目)ら。大垣市墨俣町上宿、大垣桜高校

料の一部を寄付に充てる同金庫のSDGs型地域貢献私募債「あしたへ」を活用した。

同社の墨勇志社長や同金庫の水谷吉宏静里支店長らが同校を訪問し、2本針4本糸のロックミシンを贈呈。墨社長は「自分で作ることで衣服の良しあしや苦勞が分かる。いい作品を作って」とあいさつ。服飾デザイン科2年の吉村類也(みね)さんは「ミシンを使って技術を向上させ、作品作りを頑張りたい」、安田ゆかり校長は「高価なミシンでありがたい。大切に使う」と感謝した。(宮本寛)